

# 大間原発を止めるために

## 原告・支援会員になって下さい

## 止めたい！なんとしても止めたい！

## 大間原発訴訟「提訴」に向けて

2008年4月、大間原発に国から原子炉設置許可が出されました。同年5月に事業者である電源開発(株)は、建設工事を開始しました。2010年2月現在の建設工事進捗率は約6.5%、巨大なクレーンが大間町にそびえています。

2006年12月に大間原発を止めるために「大間原発訴訟の会」を立ち上げました。そして、6万筆を超える反対署名を、函館や青森をはじめ全国から集めて国へ提出しました。更に国を相手に4541名による「電源開発株式会社大間原子力発電所の原子炉設置許可処分に対する異議申し立て」を行いました。

大間原発の問題点は大きく三つあります。

- ① プルトニウムとウランを混ぜたMOX燃料を100%使用する世界初の原発です。
- ② 大間町の沖に活断層の存在が専門家により指摘されています。
- ③ 周囲の海水より平均7度高い温排水が、毎秒91トン放出される影響が懸念されています。

私たちは、このように危険な原発や処理方法が確立されていない放射性廃棄物を子や孫に残したくありません。

大間原発は、2013年12月試運転開始(燃料装荷)、2014年11月営業運転開始の予定で建設工事中です。今こそ提訴すべきと決意しました。

全国のみなさん、大間原発訴訟の原告会員になって一緒に大間原発を止めましょう。支援会員となって大間原発訴訟を支えてください。ご協力をお願いいたします。

2010年3月15日



大間原発訴訟の会代表

竹田とし子